



田島平内旧宅・定吉旧宅を南側から眺める

田島平内旧宅から南側へ後退すれば、赤城山を背景とした養蚕農家集落景観を望めます



南側の畑越しに見る田島武平旧宅



田島林平旧宅。敷地南東の小路から

田島弥平と旧宅について



田島弥平(文政5年(1822)~明治31年(1898))は、佐位郡島村(現:伊勢崎市境島村)に生まれ、父とともに蚕種製造業に従事していました。

明治12年(1879)には、イタリアに渡り、初めて蚕種の直接販売を行い、同時に文化面でも島村に多くの恩恵をもたらしました。

田島弥平は養蚕技術の工夫に励み、明治5年(1872)に『養蚕新論』を、同12年に『続養蚕新論』を著し、養蚕建物では空気の循環が重要であることを理論体系化し、清涼育の普及に努めました。清涼育は全国に普及し、明治時代後期に高山社による清温育が普及するまで、養蚕技術に大きな影響を与えました。弥平が考案した2階建て、瓦葺、気抜き窓(檜)付き養蚕建物は清温育にも適合し、近代養蚕建築の規範となりました。

弥平旧宅は現在も当時の姿をよくとどめ、近代養蚕農家の歴史を知る上で重要なものです。

ビューポイントと守り育てたい景観

伊勢崎市境島村には史跡 田島弥平旧宅をはじめ、たくさんの特徴ある養蚕農家の建物が残されています。

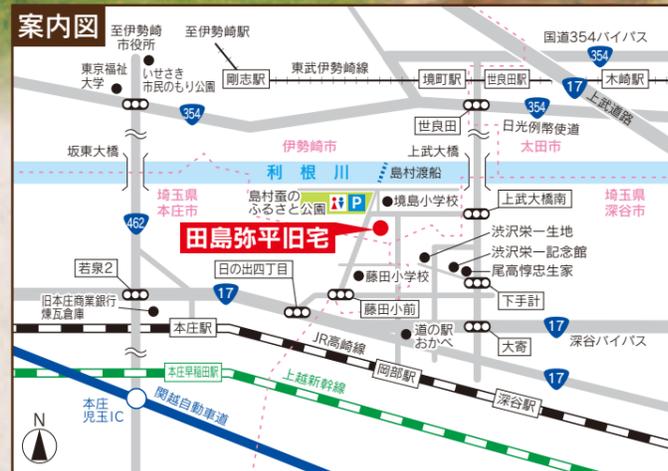
これらの建物は田島弥平が確立した養蚕飼育法「清涼育」の特徴である檜が屋根に付き、敷地は石垣や石堀、かしくねなどの生垣で囲われています。この地区が蚕種業や養蚕業で栄えていた頃を彷彿とさせる集落景観が残されています。

見どころは、弥平旧宅北側の県道から一望する養蚕農家群や、赤城山をはるか後方に配した本庄市側からの養蚕農家群などで、産業遺産としての養蚕農家集落と自然が融合した美しい景色を眺めることができます。

貴重な景観を失うことのないよう、みんなで大切に守り育てていきましょう。



県道側から畑越しに見る田島弥平旧宅全景



田島弥平旧宅周辺 景観散策まっぽ

守り育てよう美しい島村



島小北側の利根川堤防から眺める赤城山



県道から眺める弥平旧宅



表門の東側から眺める弥平旧宅



田島平内旧宅裏の石堀



田島平内旧宅のかしくねと田島定吉旧宅との間の小路



蚕種業の歴史が今なお残る
養蚕農家群と田園風景を
守り育てよう

作成:伊勢崎市景観サポーター
発行:伊勢崎市
発行日:2013/2/14

問い合わせ 伊勢崎市都市計画部都市計画課
TEL 0270-27-2767
E-mail: tosikei@city.isesaki.lg.jp

伊勢崎市景観サポーター

景観散策マップ

ゆっくり歩きながら外観をお楽しみください
⚠️ 住宅敷地内への立ち入りはやめましょう



田島弥平旧宅
【国指定史跡】
文久3年(1863)建築
木造2階建 切妻造
間口: 13.5間(約24m)
奥行き: 5間(約9m)



田島乙三郎旧宅
江戸時代末期建築
木造2階建 入母屋造
間口: 13間(約23m)
奥行き: 5間(約9m)



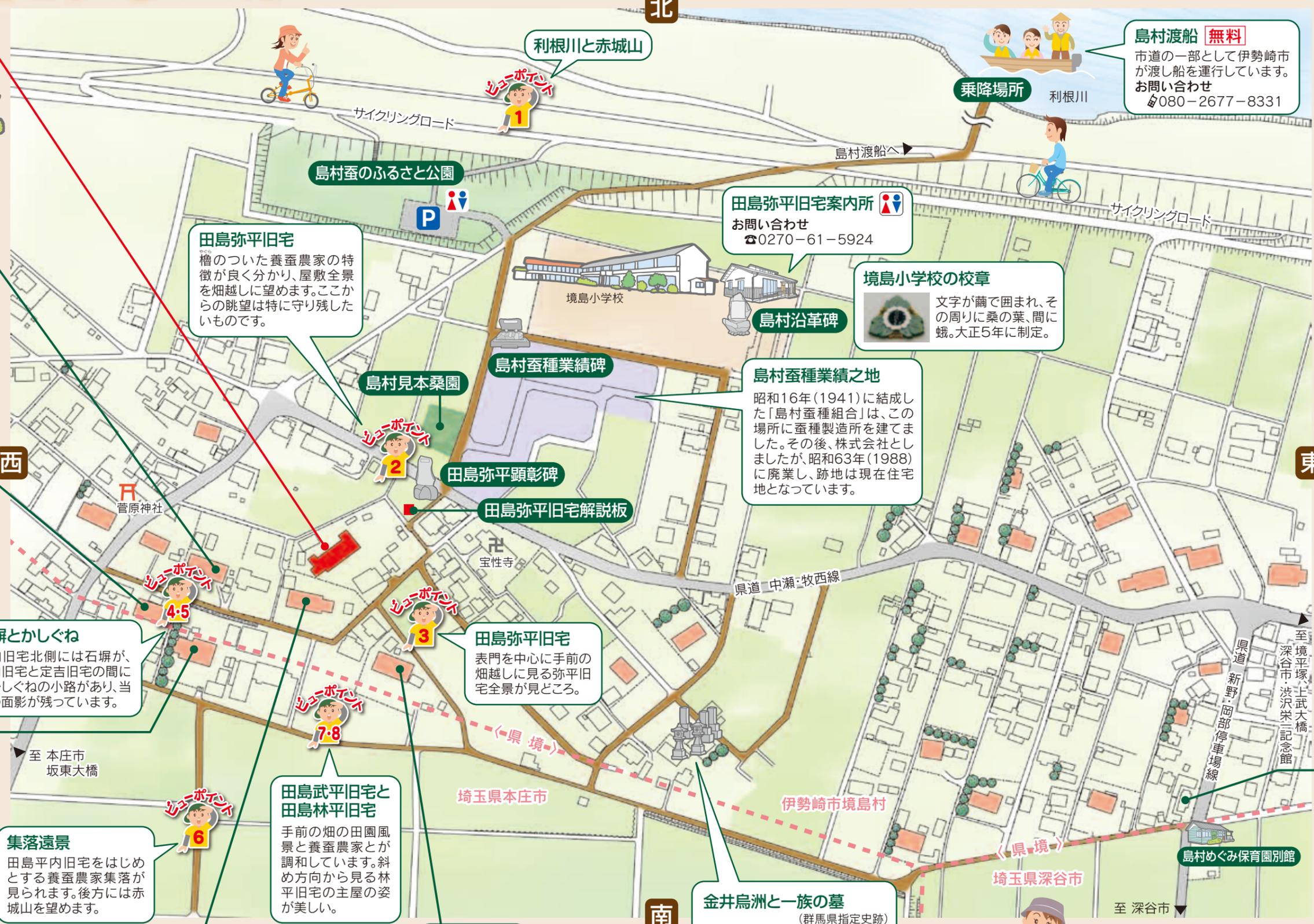
田島定吉旧宅
文久元年(1861)建築
木造2階建 切妻造
間口: 9間(約16m)
奥行き: 5間(約9m)



田島平内旧宅
明治元年(1868)建築
木造2階建 切妻造
間口: 12間(約22m)
奥行き: 5間(約9m)



田島武平旧宅
文久3年(1863)建築
木造2階建 入母屋造
間口: 11.5間(約21m)
奥行き: 5間(約9m)



田島武平旧宅
慶応2年(1866)建築
木造2階建 切妻造
間口: 9間(約16m)
奥行き: 5間(約9m)

田島平内旧宅
手前の畑の田園風景と養蚕農家とが調和しています。斜め方向から見る林平旧宅の主屋の姿が美しい。

田島武平旧宅と田島林平旧宅
手前の畑の田園風景と養蚕農家とが調和しています。斜め方向から見る林平旧宅の主屋の姿が美しい。

田島林平旧宅
手前の畑の田園風景と養蚕農家とが調和しています。斜め方向から見る林平旧宅の主屋の姿が美しい。

田島武平旧宅
手前の畑の田園風景と養蚕農家とが調和しています。斜め方向から見る林平旧宅の主屋の姿が美しい。

金井烏洲と一族の墓
(群馬県指定史跡)
島村出身の金井烏洲は江戸後期の南画家で、書や詩文にも長じていました。金井家は代々文人を輩出し、墓には烏洲の父の方古(俳人)、兄の莎邨(詩人)、弟の研香(南画家)ら一族の墓があります。

田島弥平旧宅
表門を中心に手前の畑越しに見る弥平旧宅全景が見どころ。

田島弥平旧宅
檜のついた養蚕農家の特徴がよく分かり、屋敷全景を畑越しに望めます。ここからの眺望は特に守り残したいものです。

田島定吉旧宅
平内旧宅北側には石塀が、平内旧宅と定吉旧宅の間にはかしくねの小路があり、当時の面影が残っています。

田島乙三郎旧宅
江戸時代末期建築
木造2階建 入母屋造
間口: 13間(約23m)
奥行き: 5間(約9m)

田島弥平旧宅
檜のついた養蚕農家の特徴がよく分かり、屋敷全景を畑越しに望めます。ここからの眺望は特に守り残したいものです。

田島定吉旧宅
平内旧宅北側には石塀が、平内旧宅と定吉旧宅の間にはかしくねの小路があり、当時の面影が残っています。

田島武平旧宅と田島林平旧宅
手前の畑の田園風景と養蚕農家とが調和しています。斜め方向から見る林平旧宅の主屋の姿が美しい。

田島武平旧宅
手前の畑の田園風景と養蚕農家とが調和しています。斜め方向から見る林平旧宅の主屋の姿が美しい。

田島武平旧宅
手前の畑の田園風景と養蚕農家とが調和しています。斜め方向から見る林平旧宅の主屋の姿が美しい。

金井烏洲と一族の墓
(群馬県指定史跡)
島村出身の金井烏洲は江戸後期の南画家で、書や詩文にも長じていました。金井家は代々文人を輩出し、墓には烏洲の父の方古(俳人)、兄の莎邨(詩人)、弟の研香(南画家)ら一族の墓があります。

田島弥平旧宅
表門を中心に手前の畑越しに見る弥平旧宅全景が見どころ。

田島弥平旧宅
檜のついた養蚕農家の特徴がよく分かり、屋敷全景を畑越しに望めます。ここからの眺望は特に守り残したいものです。

田島乙三郎旧宅
江戸時代末期建築
木造2階建 入母屋造
間口: 13間(約23m)
奥行き: 5間(約9m)

田島武平旧宅
慶応2年(1866)建築
木造2階建 切妻造
間口: 9間(約16m)
奥行き: 5間(約9m)

ビューポイント
上記記号がある場所がおすすめのビューポイントです。皆さんのビューポイントも探してみてください。

代表的養蚕農家
島村には田島弥平旧宅の他にもたくさんの養蚕農家が残されています。
で示した家屋はその代表的なものです。

かしくね(高垣)
石塀



島村教会
(国登録有形文化財)
明治30年(1897)建立。昭和25年(1950)には二階建ての集会室を建て、昭和34年に礼拝堂北正面に講壇を拡張。前身は田島善平氏が渡欧後、明治20年に自宅内に建てた美以教会島村講義所。教会堂と保育園舎は、地域の歴史景観のシンボルとなっています。